

山形県における新型インフルエンザの豚への感染事例について

1月20日、山形県内の養豚農場で飼育されていた豚が新型インフルエンザ（H1N1）に罹患しました。同農場では、豚が症状を示す前に管理者にも新型インフルエンザの感染が確認されています。

国内での豚への感染確認は、昨年10月21日に確認された大阪府の養豚農場に続いて2例目です。

ヒトなどから感染したインフルエンザウイルスは、豚の体内で変異が起こり、新たな新型インフルエンザとなる可能性があります。

豚への新型インフルエンザ感染を防止するために

- ・農場の管理者は、インフルエンザ様症状を呈している人（従業員、家族、飼料 運搬業者、薬品納入業者、獣医師等）を農場に立ち入らせないようにしましょう。
- ・マスク、手袋、作業靴、作業衣を着用して作業し、入退場時の消毒を励行しましょう。
- ・人や車両の立入等に関する記録をとって保存しておいてください。

農場に病原体を持ち込まないでね



飼養豚に呼吸器症状など異常が見られたときは、獣医師又は家畜保健衛生所へ連絡してください。